



# 開二小だより

Vol. 243 第12号

令和5年3月1日発行

練馬区立開進第二小学校

校長 榎田 克之

www.kaishin2-e.nerima-ky.ed.jp

## 「修了式、卒業式という節目」

副校長 小林資郷

3月になりました。子供たちはいよいよ修了、卒業の月を迎えます。この一年間の活動を通して、教室や校庭でたくましく成長した姿が多く見られたことは、保護者、地域、関係機関の皆様との共育の成果でもあり、大変嬉しく思います。心より感謝申し上げます。

先日、「6年生を送る会」で、6年生は、感謝の気持ちを込めた各学年からの出し物を楽しみました。その時、「私たち、本当に卒業するんだね。」とつぶやいていた女の子は初めて卒業を意識したように見えました。また、最後の委員会活動の前日、「コロナでできず、やり残した活動が色々あるんです。どうしたらよいでしょうか。」と校長室に相談しに来た男の子もいました。頼もしく思う反面、卒業を間近に控え、少し焦っているようにも見えました。6年生にとっては幼稚園や保育園の卒園と異なり、様々な感情が交錯する時が来ました。物心がついて初めて味わう友達、教員、下級生とのお別れです。今、人生にとって大きな節目である小学校を卒業するということに対して、真摯に自分と向き合うことが6年生にとって大事な経験だと考えます。

「節目」という言葉があります。日本を代表する竹は、雪の重みにも、嵐のような強い風雨にも耐え、他の木にはないたくさんの節目をもってまっすぐに成長します。そのたくましさの秘密は、しなやかさと力強さを併せ持つ規則正しい間隔の節目にあるとされます。子供たちには竹のようにまっすぐな心をもって、たくましく育ててほしいと願いますが、今、コロナ過の先行き不透明な現状と併せ、頑張ればできるといったかつての高度経済成長期とは違った社会状況も見受けられます。それだけに、教育においても、これまで以上に社会の変化に主体的に関わり、困難に乗り越える力の育成が強く求められています。開二小の子供たちには一年一年、多くの成功と失敗の経験を重ねる中で、柔軟に物事に対処できるしなやかさと力強さの基となる節を築き、これから出会う様々な困難にも打ち勝つ知恵や力を身に付けてほしいと願います。

開二小を卒業していく6年生には、残りの1か月を6年間、共に過ごしてきた友達と大切に過ごし、楽しんでもらいたいです。また、1～5年生の子供達にとっても一年間の自分の成長を振り返り、充足感、満足感を味わえる3月にしてほしいです。3月24日、晴れやかな表情をした6年生を開二小から送り出します。

### ◆教員の人事異動に関する報道発表日の変更について◆

東京都教育委員会は、例年4月1日に教員の人事異動について報道発表を行っていましたが、令和5年は、テレビ・ラジオ等で3月21日（火）17時以降、新聞で3月22日（水）に発表することとしました。つきましては、本校では、3月23日（木）の修了式において、児童へ転出（退職）する教員の紹介をします。

### ◆卒業式でのマスク着脱について◆

区の「マスク着用の考え方の見直し等について」の方針を踏まえ、児童及び教職員につきましては、式典全体を通じてマスクを外すことを基本とします。また、ご来賓や保護者の皆様には、マスク着用をお願いしますが、各個人のご判断にお任せ致します。ご協力お願いいたします。



# 3月行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2 読書	3 集会	4
	①②③④⑤⑥はそれぞれ学年を表します。⑦はあおぎり学級を表します。		⑥お別れ会 ①②③④⑤⑦ 下校 14:05	⑧①②③ 授業参観 保護者会	④⑤ 授業参観 保護者会 ⑥遠足	
5	6 朝会	7 クラス	8 朝学習	9 読書	10 クラス	11
		ふれあいタイム		なかよしの日		
12	13 朝会	14 クラス	15 朝学習	16 読書	17 クラス	18
		⑤式場設営	美化の日			
19	20	21	22 朝学習	23	24	25
	大掃除	春分の日	給食終了 卒業式予行	修了式	⑥卒業式	春季休業開始

※予告なしの避難訓練があります。

## ☆☆ふれあいタイム☆☆

ふれあいタイム担当 森 幸子

開二小には、1年生から6年生までの子供たちが交流し仲良く過ごすことができるように、高学年を中心に計画される「ふれあいタイム」があります。

一か月に1回、校庭や教室などに分かれ、異学年で構成された15グループそれぞれが、楽しい時間を過ごしています。ドロケイ、フルーツバスケット、ドッジボール…どの学年の子も楽しめるよう、6年生が工夫を凝らします。

感染症の状況により、昨年度は中止になる回も多くあったのですが、今年度はほぼ活動することができました。回を重ね、自信をもってリードする上級生の姿や、楽しそうに集まってくる下級生の姿が見られました。

3月の最終回には、これまで中心となって計画していた6年生から、5年生がその役目を引き継ぎます。上級生の姿に学び、異学年の友達のやさしい心に支えられながら、役割と責任を自覚し成長していく高学年が開二小の伝統を支えています。

## 春休みの過ごし方

開二小生活指導部

いよいよ春休みが始まります。卒業や進級を迎える春休みは、事件事故の多い休みでもあります。

そこで、ご家庭で確認してもらいたいことをいくつか挙げさせていただきます。

- ・出かける時は防犯ブザーを持ち、行き先や遊ぶ友達、帰宅時間を伝えること。
- ・遊び場所を考えて遊ぶこと。
- ・お金やゲームなど大切なものを持って遊びにいかないこと。

以上のことを確認していただき、安全で楽しい春休みをお過ごしください。